

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付作業前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。取り付け後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

ラプコン搭載シリーズ



ラプコンとは動きを優しく、スムーズにコントロールするオリジナルメカニズムです。

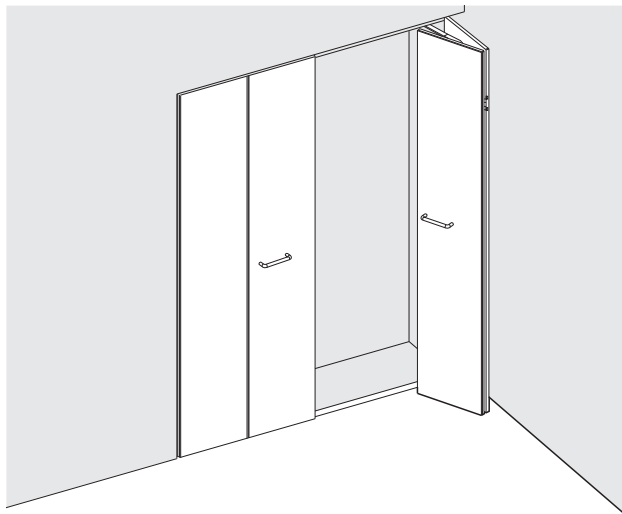
本製品について

- ソフトクロー징機構が付いたアーム式の折戸金物です。
- 上下のレールが不要で、取り付けが簡単です。
- 吊元はスライド丁番のため、扉の上下、左右、前後調整ができます。

取り付けできる扉

扉幅	380mm~460mm
扉高さ	2600mm以下
扉厚	18~30mm
扉質量	8kg以下(扉1枚当たり)

- ・使用場所の室温、操作方法および取付状態などにより、ソフトクローズ機構による閉じる速さは変わります。
- ・使用推奨温度範囲は5℃~35℃です。
- ・扉の固定・調整作業は、キャビネットの内側から行う必要があります。



正しく安全に取り付けていただくために

	本記号は、してはいけない禁止内容です。
	本記号は、必ず実行していただく強制内容です。

⚠ 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生する恐れがある内容を示します。

- ⊘ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度のワードローブやキャビネットを製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締め付けてください。取付強度が不足していると、扉などが脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。
- ⊘ 発熱する調理器具等を隠す扉には使用しないでください。
- ⚠ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。板、扉の反り、傾きやねじれは、故障や性能低下のおそれがあります。
- ⚠ 本製品は家具を構成するための部品です。取付終了後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。
- ⚠ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。(お使い始めから1ヶ月後、6ヶ月後、その後は1年ごとが目安となります。)

部品一覧

No	①		②			③	④
品名	本体(右開き用)	本体(左開き用)	吊元丁番 (16mmかぶせ用)	吊元丁番 (26mmかぶせ用)	吊元丁番 (インセット用)	丁番座金	センターヒンジ
品番	SFD-3L-R	SFD-3L-L	H230-26/16T	H230-26/26T	H230-26/0T	230-P4W-32T	CH-75
部品							
数量	左右どちらかを1ヶ		扉の仕様に合わせ1種類を選択、数量は取付必要個数を参照			吊元丁番と同数	数量は取付必要個数を参照

適用扉範囲

※本品は使用する扉の寸法・質量を考慮する必要があります。
下記扉以外へ取り付けの際は、弊社営業担当者までお問い合わせください。

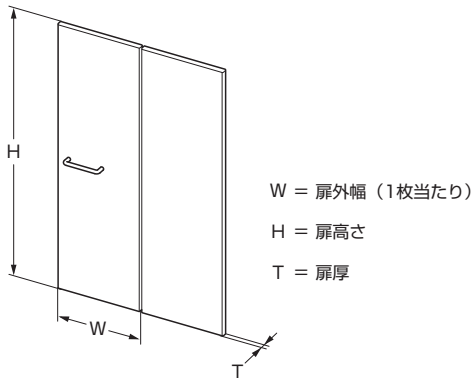


図 1. キャビネット図 (右勝手用)

扉外幅 W : 380mm ~ 460mm (1枚当たり)
扉高さ H : 2600mm まで
扉厚 T : 18 ~ 30mm (図 1 参照)
扉質量 8kg (1枚当たり) まで

- 吊元には、下記のスライド丁番・座金をご使用ください。
 ランプ印 スライド丁番 H230 シリーズ
 品番 H230 - 26 / 16T (かぶせ仕様)
 H230 - 26 / 26T (かぶせ仕様)
 H230 - 26 / OT (インセット仕様)
 ランプ印 スライド丁番座金
 品番 H230 - P4W - 32T
- 扉 2 枚を連結する丁番は、当社指定のセンターヒンジをご使用ください。
 ランプ印 センターヒンジ 品番 CH75

吊元丁番・センターヒンジとともに使用する扉の高さにより取付個数が異なります。(表 1.)

表 1. 丁番取付個数表 (推奨使用個数)

扉高さ (mm)	吊元丁番 (個)	センターヒンジ (個)
~ 500	2	2
500 ~ 1000	3	2
1000 ~ 1500	4	3
1500 ~ 2000	5	4
2000 ~ 2600	6	4

吊元丁番の取付位置は、扉上端・下端より 100mm の位置に 1 個ずつに取り付けてください。
 丁番を 3 個以上使用する場合、中間の丁番は上と下の丁番の中心より若干上の方が強度的には有利です。
 吊元丁番の取り付けに関わるその他の寸法は丁番ごとに異なります。

センターヒンジの取付位置は扉高さに対して等間隔に取り付けます。
 また、扉間の目地は 2mm になるように取り付けます。(図 2-1、図 2-2)
 ハンドルは E 寸法以下の位置に取り付けてください。(図 2-1、図 2-2)

寸法図

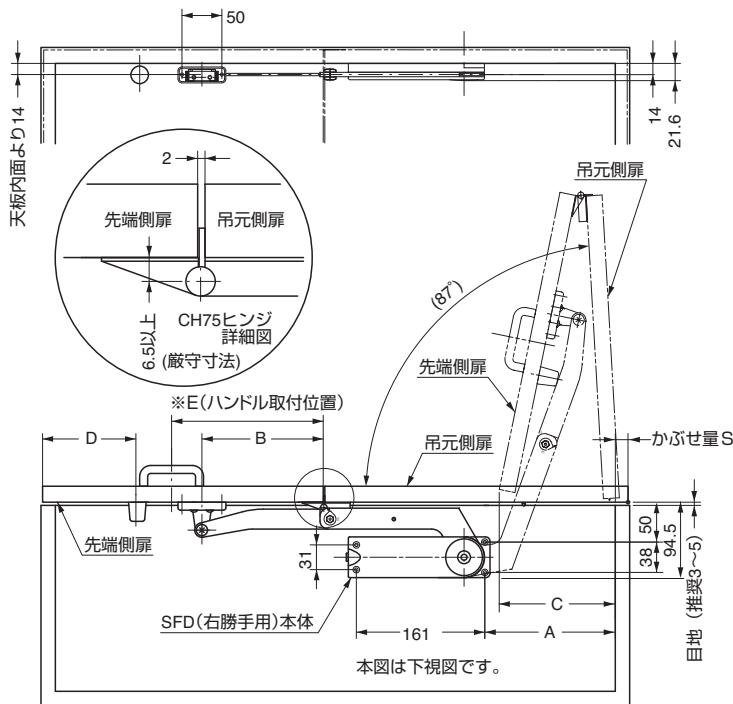


図 2-1. かぶせ取付寸法図 (右勝手用)

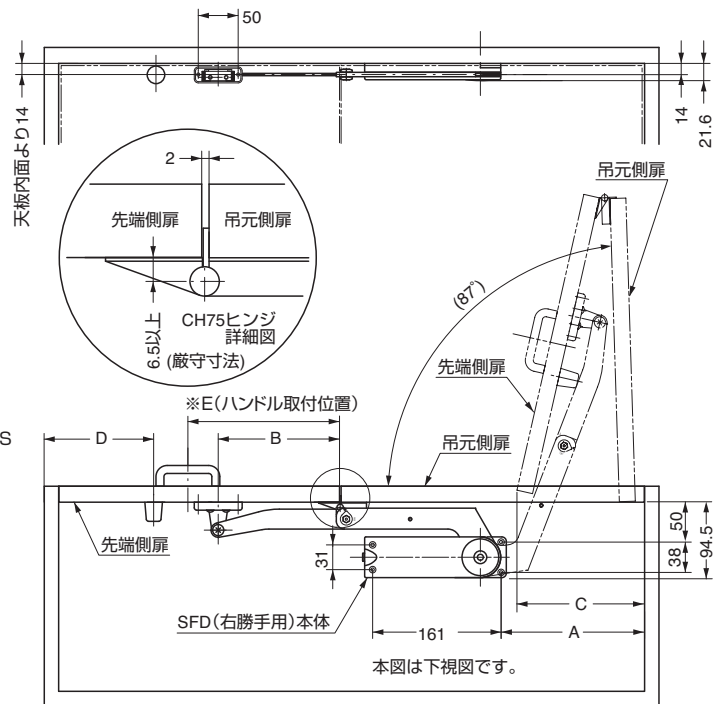


図 2-2. インセット取付寸法図 (右勝手用)

表 2-1. かぶせ取付寸法表

アームサイズ	基準扉幅	使用可能扉幅範囲	アーム調整位置	A	B	C	D	※ E (最大値)
L	380	375 ~ 385	1	179.5-S	152	(145)	(150)	(190)
	390	385 ~ 395	2	184.5-S	155	(150)	(155)	(195)
	400	395 ~ 405	3	189.5-S	158	(154)	(160)	(200)
	410	405 ~ 415	4	194.5-S	161	(158)	(165)	(205)
	420	415 ~ 425	5	199.5-S	164	(162)	(170)	(210)
	430	425 ~ 435	6	204.5-S	167	(168)	(170)	(215)
	440	435 ~ 445	7	209.5-S	170	(172)	(175)	(220)
	450	445 ~ 455	8	214.5-S	173	(177)	(180)	(225)
	460	455 ~ 465	9	219.5-S	176	(181)	(180)	(230)

表 2-2. インセット取付寸法表

アームサイズ	基準扉幅	使用可能扉幅範囲	アーム調整位置	A	B	C	D	※ E (最大値)
L	380	375 ~ 385	1	179.5	152	(160)	(150)	(190)
	390	385 ~ 395	2	184.5	155	(166)	(155)	(195)
	400	395 ~ 405	3	189.5	158	(168)	(160)	(200)
	410	405 ~ 415	4	194.5	161	(173)	(165)	(205)
	420	415 ~ 425	5	199.5	164	(177)	(170)	(210)
	430	425 ~ 435	6	204.5	167	(183)	(170)	(215)
	440	435 ~ 445	7	209.5	170	(187)	(175)	(220)
	450	445 ~ 455	8	214.5	173	(191)	(180)	(225)
	460	455 ~ 465	9	219.5	176	(197)	(180)	(230)

アームの調整方法

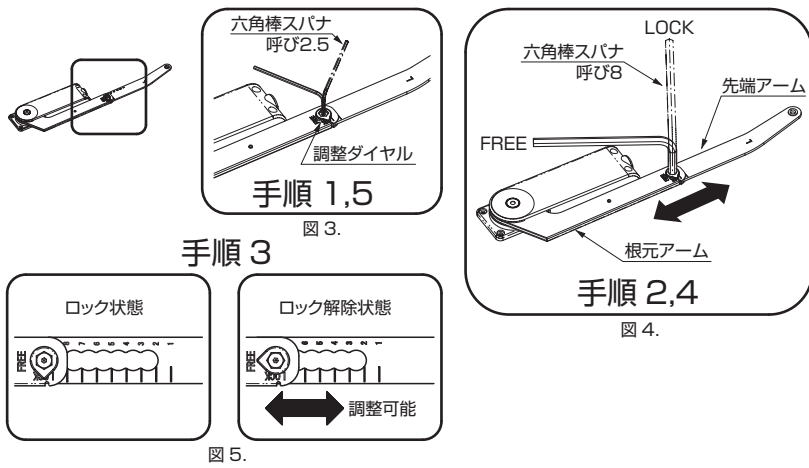


図 3. 図 4. 図 5. アーム調整方法

- 手順 1 六角棒スパナ（呼び 2.5）を用いて、調整ダイヤルを固定している六角穴付ねじをゆるめてください。（図 3.）
- 手順 2 六角棒スパナ（呼び 8）を用いて、調整ダイヤルを「FREE」方向に回してください。（図 4.）
- 手順 3 先端アームをスライドさせ、P.2 の表 2 に示されたアーム調整位置の値に目盛り線を合わせてください。
- 手順 4 六角棒スパナ（呼び 8）を用いて、調整ダイヤルを「LOCK」方向に回してください。（図 4.）
- 手順 5 六角棒スパナ（呼び 2.5）を用いて、調整ダイヤルを固定している六角穴付ねじをしめてください。（図 3.）

⚠ 目盛り線からずれた状態で調整ダイヤルを無理に回さないでください。製品が破損します。アーム調整後、必ず「LOCK」方向に回し、六角穴付ねじで固定してください。

取付手順

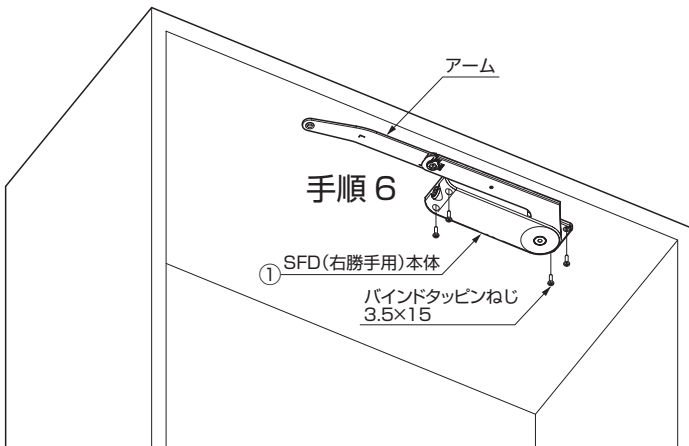


図 6. SFD 本体の取り付け

● SFD 本体の取り付け

- 手順 6 扉幅によりアームの調整を行った SFD 本体①をキャビネット内側の規定位置に合わせ（取付寸法は図 2、表 2 をご参照ください）、付属のバインドタッピンねじ 3.5 × 15 で固定してください。（図 6.）

⚠ アームには内蔵のばねにより、閉じる方向に力が働きます。アーム先端を扉（座金）に固定するときは、アームをしっかり持ち、手などはさまないよう注意してください。

● 座金およびセンター丁番の取付

- 手順 7 座金とストッパーゴムを先端側扉裏面の規定位置に、バインドタッピンねじ 3.5 × 25 で確実に固定してください。（図 7.）

- 手順 8 センターヒンジ CH75 を吊元側扉・先端側扉側を間違えないよう取り付けてください。（図 8.）
※丁番の個数および取付位置は、「P.2 ■適用扉範囲」をご参照ください。

- 手順 9 吊元側の扉にスライド丁番を取り付けてください。（図 8.）
※丁番の個数および取付位置は、「P.2 ■適用扉範囲」をご参照ください。
キャビネット内側（吊元側）に座金を取り付けてください。

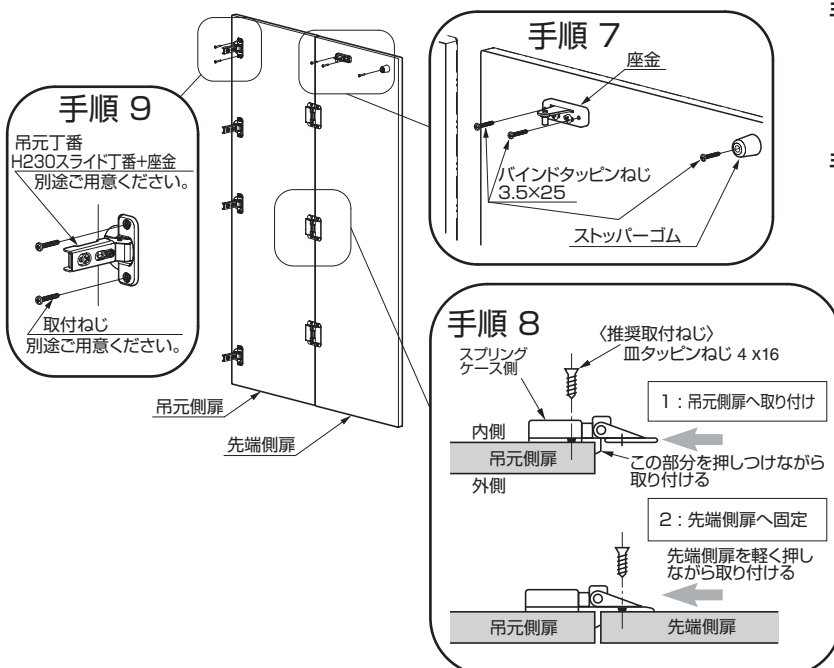


図 7. SFD 座金およびセンター丁番の取り付け

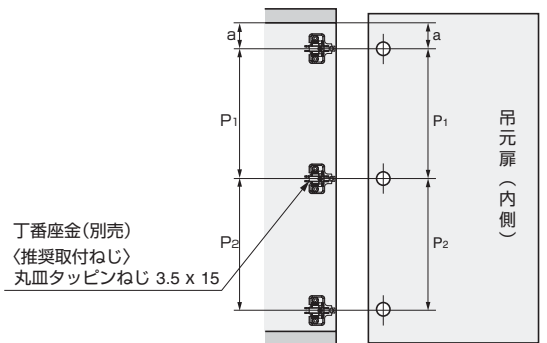


図 8. スライド丁番座金の取り付け

扉の吊り込み

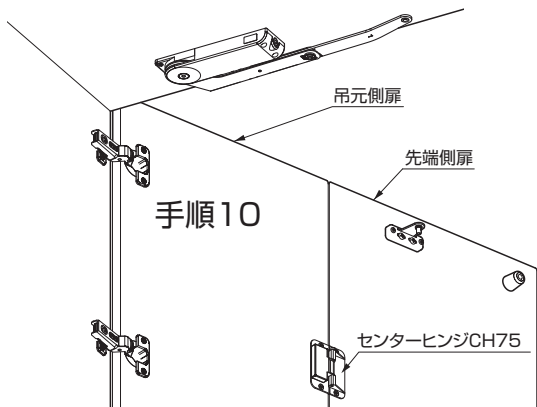


図 9. 扉取付図 (右勝手用)

手順 10 扉を吊り込む前にセンターヒンジのピンの頭が床側にある場合、下記のようにピンを抜き、向きを変え差し込んでください。(図 10.)

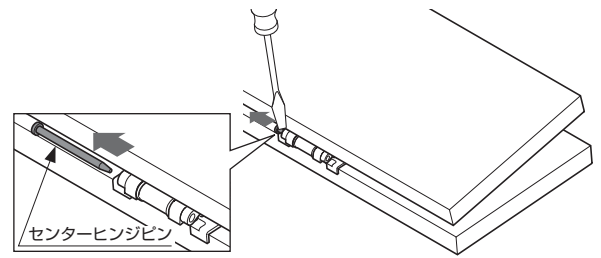


図 10.

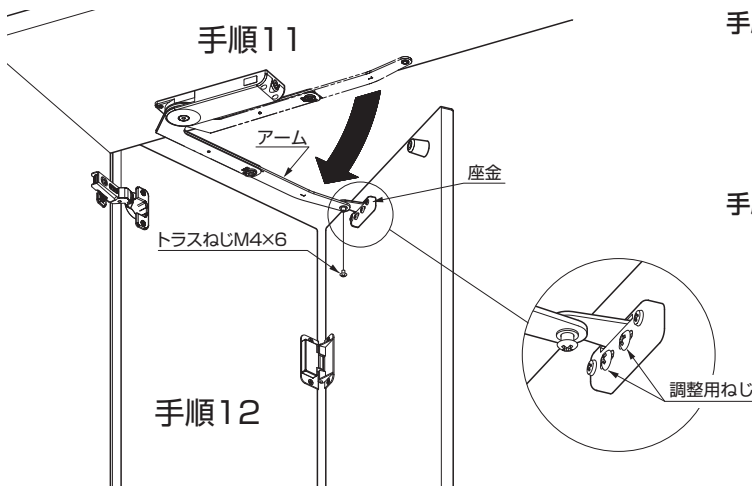


図 11. 扉取付図 (右勝手用)

手順 11 SFD の座金の軸とアームの穴を合わせ、奥まで差し込んでください。(図 11.)

アームの穴に SFD の座金の軸を差し込んだ後、トラスねじ M4 × 6 でしっかりと固定してください。締付トルクは 15kgf・cm (1.5N・m) 以上とします。

手順 12 扉を閉じた際、完全に閉まらない場合は、座金の調整用ねじを緩め、扉が閉まる位置で SFD の座金を固定してください。調整用ねじによる水平方向の位置調整は、± 5mm です。位置が確定したら、調整用ねじは必ず増し締めをしてください。(図 11.)

扉の速度調整

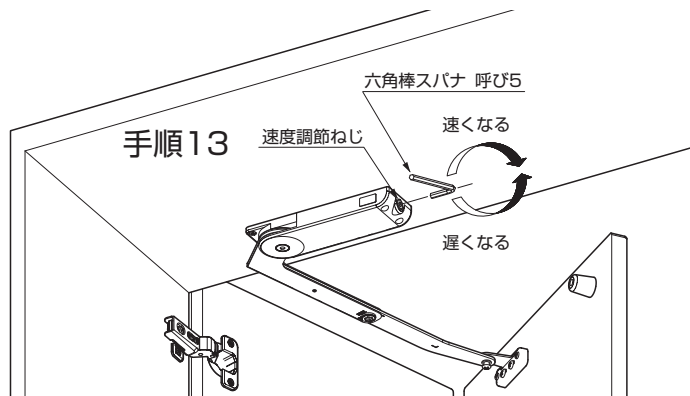


図 12. 扉の速度調整 (右勝手用)

手順 13 本体後部の速度調節ねじで扉の閉まるスピードを調節します。調節には、六角棒スパナ (呼び 5) を使用してください。(図 12.)
調節ねじは、右に回すと早くなり、左に回すと遅くなります。

⚠ 必要以上の力を加えて調節ねじを回すと、製品が破損する恐れがありますのでおやめください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいただけます。

電話番号 03 (3864) 1122

受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) · ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/